

総授業時間の約半分の時間を占める実習や卒業研究、企業

3科で構成されています。1クラス20人の少人数実習を通して、確実に技能が身に付きます。普通高校出身の学生も、きめ細かな指導により、職業に生かせる高度な専門知識を学ぶことができます。

産技短って？

県立産業技術短期大学校、通称「産技短」は、矢巾町と奥州市にある「職業能力開発短期大学校」です。本年、市内にある水沢校は、平成24年4月に前身である県立高度技術専門学院が開校してから、30周年を迎えました。



ものづくりの

スペシャリストを目指して

近年、科学技術が進歩する中、技術者の育成が注目を集めています。開校以来、地域に根差した「ものづくり」技術者を多数輩出している産技短水沢校。奥州市から誕生するものづくりのスペシャリストの育成について紹介します。

特集 県立産業技術短期大学校水沢校

在校生にインタビュー



生産技術科 2年 佐藤 滉馬 さん

進路選択の時、工業について学びたいと思ったのが産技短に進学したきっかけです。ものづくりが好きな人、興味がある人が集まり、それぞれの目標に向かい日々学習しています。



▲3Dプリンターで作成した恐竜のフィギュアを保育園児にプレゼントしました。喜んでもらえてうれしかったです。



電気技術科 1年 狩野 晩翠 さん

高校で学んでいた電気をもっと極めたいと思い入学しました。実習が多いですが、みんなで協力し、楽しく学んでいます。高校と比べ、実習を通して自ら進んで学ぶ機会が増えました。新しいことにチャレンジしたい人、探求心のある人におすすめです。

業見学やインターンシップ、ものづくり競技大会やコンテストへの出場を目指した活動を通じ、職業人として自立できるものづくり人材（実践技術者）を育成しており、水沢校の過去5年間の就職率は100%です。

生産技術科

金型技術の学びを通して、機械設計技術、機械加工技術、機械制御技術について実践的に取り組み、「ものづくり」の一連の流れを学びます。卒業後は、金型や半導体、自動車部品製作など、「ものづくり」を通し社会貢献できる製

建築設備科

建築工学・環境工学・電気工学の基礎理論から学習を始め、空気、水、光、熱などの建築を取り巻く環境について学びます。基礎工学実験、測量などの土木実習などを通し

電気技術科

電気回路などの基礎科目と、電気機器などの応用科目を学びながら、電気エネルギーの管理監督に必要な技術を修得します。電気技術はほぼ全ての産業に関連しているため、卒業後は幅広い分野での活躍が可能です。

造業を中心に活躍します。



<今月の表紙>

令和2年度 あゆみ園 運動会

9月26日、衣川の市立幼保連携型認定こども園・あゆみ園で、運動会が開かれました。写真は3～5歳児による種目「坊の冒険」。手に取ったカードに書かれた内容(おんぶ、じゃんけん、カエルジャンプなど)をしてゴールに向かう園児とその家族は笑顔にあふれていました。

CONTENTS

- 2 キラリ輝く奥州人
- 3 【特集】ものづくりのスペシャリストを目指して
- 4 新型コロナウイルス感染症関係の情報
- 5 予防接種のお知らせ
- 6 令和元年度決算
- 9 思いをカタチに 地域づくりの輪
- 10 令和3年度 認定こども園・幼稚園・保育所の園児を募集
- 12 10月は「3R推進月間」「食品ロス削減月間」です
- 13 第43回NHK杯全日本カヌースラローム競技大会
- 14 街diary
- 16 ILC希望のひかり 市長コラム「おうしゅう羅針盤」
- 17 まなびの里
- 18 もっと安心 ずっとおうしゅう はい、こちら総合相談室
- 19 子そだて広場
- 20 インフォメーション
- 24 奥州遺産



キラリ輝く奥州人

齊藤 理 さん(47歳)

=水沢字南大鐘=

ものづくりの楽しさを 学生と分かち合いたい

学生の実技を見つめるまなざしに宿るのは、ものづくりに対する情熱。県立産業技術短期大学校の教員、齊藤理さんだ。高校教員の父の影響で教員となり20年余り。多くの技術者を送り出してきた。現在受け持つ建築設備科は、2年間で14種類の資格の取得を目指す。電気、水、空調といった暮らしに必要なものばかり。理さんは電気、ガスの実技を主に担当している。理さんは技能五輪に出場する学生の指導にも力を入れて

学生の排水管切断工程を確認する理さん。技能五輪配管職種の実習風景

おり、入賞の実績を積み上げてきた。11月に今年の全国大会に挑戦する2人が表彰台に立てるよう、作業の速さと正確さを極める練習を日々サポートしている。少年時代、父が自宅の塀を造る姿を見て「ものづくりっていいな」と思った。今でも、何もない所から出来上がっていくのがものづくりの楽しさだと思ふ。ここで学ぶのは人の生活を支える技術。「学生一人一人と信頼関係を築き、楽しみながら一緒に成長していきたい」と情熱は尽きない。



さいとう・おさむ ©昭和48年、北海道旭川市生まれ。県立産業技術短期大学校水沢校建築設備科上席講師。健康維持のため、夏はラフティング、冬はスキーを楽しむ。妻と息子2人の4人家族。



県立産業技術短期大学校水沢校

住所 水沢佐倉河字東広町 66 番地 2

学生数 84 人

☎ 22-4422

ホームページ・入試情報はこちらをご覧ください



◎学校見学も随時受け付けています。お気軽にお問い合わせください。

実践技術者を育成します。卒業後は、ガス会社や建築会社、設備会社などで学んだ知識を生かし、建設業を中心に活躍することができます。